

JST 戦略的国際科学技術協力推進事業

研究成果最終報告会

湖沼の富栄養化防止・修復のための持続可能な生態環境保全技術の確立

概 要

本研究は 2003 年 11 月に元文部大臣有馬朗人氏が推進した日中環境会議（北京市）に研究代表者の前川が同行し、中国の水環境修復の重要性を確認し合ったことに端を発しており、その翌年、武漢市において JST 開催のセミナーでその骨子が決められたものです。

研究の内容は JST 戦略的基礎研究推進プロジェクト（微生物の機能強化による水環境修復技術の確立）、産学官地域結集型霞ヶ浦浄化プロジェクト、同都市エリア産学官連携促進事業「霞ヶ浦バイオマスリサイクル開発事業」及び筑波大学 21 世紀 COE プロジェクトの成果を踏まえて中国雲南省昆明市でん池や河北省泰皇岛市の水道水源ダムの浄化が中心になっています。研究課題は「湖沼の富栄養化防止・修復のための持続可能な生態環境保全技術の確立」となっていますが、中国では、湖沼に流入する河川の点源、面源汚染を如何に防止するか、バイオマスの利活用を含めた検討が基本的課題となっています。2004 年 10 月～2007 年 9 月まで実施された研究成果を報告致します。地球温暖化防止が焦眉の急務である現在、最近話題となっている中国の水環境事情を理解する上でも、是非ご参加下さいますようお願いいたします。

日 時：2007 年 10 月 23 日（火） 9：30～17：00 （受付：AM 9：00～9：30）

会 場：つくば国際会議場 406 会議室（4 階） 茨城県つくば市竹園 2-20-3

常磐新線 TX つくば駅 A3 出口より徒歩 10 分、詳細は <http://www.epochal.or.jp/>

主 催：（財）国際科学振興財団 共 催：（独）科学技術振興機構

参加費：無料 （定員 108 名） 定員になり次第、受付を終了させていただきます。

プログラム

午前	午後
9：30～ 9：35 開会挨拶（前川孝昭）	13：40～14：20 院多本華夫 筑波大学講師
9：35～10：15 氷鮑揚四郎 筑波大学教授	14：20～15：00 中曽根英雄 茨城大学教授
10：15～10：55 杉浦則夫 筑波大学教授	休憩（20分：コーヒープレイク）
休憩（10分）	15：20～16：00 北村 豊 筑波大学准教授
11：05～11：45 張 振亜 筑波大学准教授	16：00～16：40 前川孝昭筑波大学名誉教授
11：45～12：25 内海真生 筑波大学講師	16：40～16：55 中国側研究成果 （代発表 前川孝昭）

申 込 方 法：別添申込書にご記入の上 FAX 又は E-mail にてお申込み下さい。

締 切 り：2007 年 10 月 19 日（金）まで

問い合わせ先：（財）国際科学振興財団 Tel：029-839-4600（石濱）
研究代表者 前川孝昭 Tel：029-853-6989（赤松）

JST 戦略的国際科学技術協力推進事業 研究成果最終報告会 参加申込書

申し込み Fax 番号：029-839-4601

日 時：2007 年 10 月 23 日（火） 9：30～17：00 （受付 9：00～9：30）

場 所：つくば国際会議場（エポカルつくば） 406 会議室（4 階）

茨城県つくば市竹園 2-20-3 Tel：029-861-0001（駐車場あり）

内 容：JST 戦略的国際科学技術協力推進事業、研究題目：「湖沼の富栄養化防止・修復のための持続可能な生態環境保全技術の確立」研究期間：2004 年 10 月 1 日～2007 年 9 月 30 日 で実施された研究及び交流の成果最終報告

主 催：（財）国際科学振興財団

参加費：無料（定員 108 名） 定員 108 名になり次第受付を終了させていただきます。

申込方法：下記申込書にご記入の上 FAX にてお申込み下さい。

（同内容をメールにてお送り頂いても結構です。

E-mail：ishihama@fais.or.jp）

締切り：2007 年 10 月 19 日（金）まで

問い合わせ先：（財）国際科学振興財団 Tel：029-839-4600（石濱）

研究代表者 前川孝昭 Tel：029-853-6989（赤松）

		申込日
氏 名	所 属	年 月 日
申込み代表者 （ ）	Tel： _____ Fax： _____	
	E-mail： _____	
	住所：〒 _____	